

白野江植物公園 サトザクラ

花ゆい

白野江校区の元気フラン

梅花石

目 次

ごあいさつ	1
第 1 章 計画策定にあたって	2
1 計画の性格	
2 計画の期間	
3 計画の策定経過	
第 2 章 白野江校区の現状と課題	3
1 地域社会の動向	
2 地域の福祉課題及び小地域福祉活動の課題	
3 白野江校区の人口動向	
第 3 章 計画体系	5
1 基本理念	
2 基本目標	
3 実施項目（体系図）	
4 実施計画（重点実施項目）	
第 4 章 白野江校区の計画推進	10
1 地域への計画の承認と周知	
2 計画を推進するための体制	
3 第二次計画の策定	
参考資料	11
1 白野江校区小地域福祉活動計画策定委員会 委員名簿	
2 策定委員会での協議事項	



それぞれの活動をつなぎ、協力し合って絡み合い、花リースのような輪ができ、白野江校区が元気になっていく様子をイメージしました。

ごあいさつ

白野江校区では、住民みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくりを目指し、平成7年度より「ふれあいネットワーク活動」に取り組み、地域住民の関係者がお互いに協力し合いながら、住民主体の支え合いのしくみづくりを行ってきました。

近年、全国的に少子高齢化時代となり、社会福祉をとりまく環境は、大きく変動しています。また、台風や局地的な集中豪雨などの異常気象、大地震などの自然災害により、多くの被害がもたらされています。私たちが住む白野江校区も例外ではなく、従来の福祉活動や近隣との関わりだけでは対応しきれない問題も多く出てきています。

そこで、今後、地域福祉活動を進めていくために、担い手となる各関係団体がもう一度地域の福祉課題を共有し、課題解決に向けて話し合い、協働を生み出していく協議の場として策定委員会を立ち上げ、話し合いをしてきました。6回にわたり計画策定委員会を開催し、住民主導による地域福祉活動を進めるための、「小地域福祉活動計画」を策定しました。

今回、「小地域福祉活動計画」を策定した事により、現在校区内で実施している活動の整理や、白野江校区にとって重点的に取り組むべき項目が明確になりました。地域の皆様と協力し、活動に取り組んでいく事で、誰もが安心して暮らせる白野江校区を実現していきたいと思います。ご協力よろしくお願いします。

この計画の策定にあたりご尽力いただきました本計画策定委員会委員並びにご意見をお寄せいただきました関係者の皆様に、感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。



白野江校区社会福祉協議会

会 長 出口 正助

第1章 計画策定にあたって

1 計画の性格

(1) 住民発信の行動計画

この計画は、白野江校区の様々な福祉課題を解決するために、住民や民間団体が将来の見通しを持って計画的に活動しようとするための民間の行動計画です。

(2) 小地域の生活を支える計画

この計画は、白野江校区に住む人たちの「生活」を支えることを活動の原点とする計画です。

(3) 北九州市及び北九州市社会福祉協議会・門司区社会福祉協議会と協働する計画

この計画は、北九州市及び北九州市社会福祉協議会・門司区社会福祉協議会の計画と連携しながら地域福祉活動を進めていく計画です。

(4) 白野江校区社会福祉協議会の活動指針となる計画

この計画は、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的な団体としての方針や発展強化の道筋を明らかにする性格を有します。

2 計画の期間

令和元年度～令和5年度までの5ヵ年とします。計画の期間中、地域を取り巻く状況に大きな変化があれば、見直しを行います。

3 計画の策定経過

白野江校区では、地域福祉活動に取り組んでいる関係機関・団体等からの意見を踏まえ、民間の地域福祉に関する計画を策定するため、白野江校区小地域福祉活動計画策定委員会を設置しました。平成30年8月3日の打合せから平成30年9月6日に立ち上げた同委員会において、24名の委員により全6回に及ぶ協議の上、白野江校区小地域福祉活動計画を策定しました。（参考資料を参照）

第2章 白野江校区の現状と課題

1 地域社会の瞳孔

白野江校区の基礎データ

(H30.3.31 現在)

人	口	2,393 人	小 学 校	白野江小学校
世 帯 数		1,159 世帯	中 学 校	東郷中学校
高 齢 化 率		35.6 %	活 動 拠 点	白野江市民センター
老齢人口 65 歳以上		851 人	地域包括支援センター	門司 1
福 祉 協 力 員		25 人	その他社会資源等	白野江植物公園、 白野江緑地公園、 年長者いこいの家、 青浜公民館
民生委員児童委員		6 人		

白野江校区は、門司区の東部に位置し、周防灘に面した沿岸約8kmの地域で環境に恵まれており、進学や就職で校区を出ていく人もいますが、結婚や自宅購入を機に、戻ってくる人が数多くいます。

校区内にはスーパーがないため、車を持っている若い世代は、門司港や小倉・下関方面に買い物に行き、高齢者の多くは、バスに乗って、隣の校区の黒川や門司港まで出かけています。

また、バスの本数が少ないうえ校区内の一部しか通っていないため、地域の企業がワンボックスカーで小学校や市民センターまで、無料で送迎支援を行っています。

2 地域の福祉課題及び小地域福祉活動の課題

白野江校区では平成7年よりふれあいネットワーク活動が展開されていますが、地域のボランティアが高齢になってきています。

福祉活動を進めていく上での課題としては、福祉協力員のなり手の確保が難しく、なかなか人数が増えず、町内により見守りが必要な方の情報が十分に得られている町内とそうでない町内があるという現状があります。特に集合住宅の住民については出入りも多く、見守り活動などに必要な情報を集めるのが難しいという問題があります。

3. 白野江校区の人口動向（住民基本台帳より）

○白野江校区 年齢別人口の推移

（単位：人）

	平成 30 年 (A)	平成 20 年	平成 10 年 (B)	増減数 (対平成 10 年)
総人口	2,346	3,032	3,352	-1,006
0～14 歳	272	465	634	-362
15～64 歳	1,229	1,879	2,220	-991
65 歳以上	845	688	498	347
高齢化率	36.0%	22.7%	14.6%	21.1%

○白野江校区 町内ごとの世帯数・人口・高齢化率（平成 30 年と平成 10 年の比較）

		平成 30 年 9 月				平成 10 年 9 月				増減 (A-B)
		世帯数	人 口 (人)	65 歳以上 (人)	高齢化率 (A)	世帯数	人 口 (人)	65 歳以上 (人)	高齢化率 (B)	
門司区		50,045	99,232	35,967	36.2%	48,638	118,614	25,807	21.8%	+14.4%
白野江校区	白野江 1 丁目	396	818	261	31.9%	334	1,047	99	9.5%	+22.4%
	白野江 2 丁目	259	447	144	32.2%	333	883	91	10.3%	+21.9%
	白野江 3 丁目	227	476	201	42.2%	222	595	141	23.7%	+18.5%
	白野江 4 丁目	227	463	185	40.0%	194	538	89	16.5%	+23.5%
	大字白野江	66	142	54	38.0%	107	289	78	27.0%	+11.0%
	合計	1,148	2,346	845	36.0%	1,190	3,352	498	14.9%	+21.1%

[上記データから分かること]

・0歳～64歳までの人口がこの20年で約半分になり、65歳以上の人口が1.7倍となっていることが、高齢化率を約20%高くした原因のひとつと考えられます。

・人口は減っているのに世帯数は変わらないことから、一人暮らしの方が増えてきていることが推測されます。

第3章 計画体系

1 基本理念「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」

白野江校区では、子どもから高齢者まで、障害のあるなしに関わらず、誰もが住み慣れたところで安心して生活できるまちにしたいと願っています。そこで「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」という言葉を計画の基本理念として、計画を推進していきます。

2 基本目標

(1) みんなで福祉の風土を広げよう

福祉活動を広報紙や市民センター館報などで住民に知ってもらい、地域に福祉の風土を広げます。

お互いの役割を知る場をつくり、お互いの活動を学び合い、見守り・助け合い・話し合いの基本活動を充実させていきます。

活動の担い手の確保・養成に向け、誰でも参加しやすく活動しやすい環境づくりをします。

(2) 住民、関係機関・団体のネットワークで、身近な福祉活動を進めよう

市民センターを周知し、知ってもらうことでサロンや住民の集いの場をつくり、広報紙や市民センター館報などを利用して福祉活動の協力者を発掘していきます。

(3) 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

日頃の交通安全や防犯の見守り、子ども 110 番の家ウォークラリー等の活動を継続し、安全で安心な暮らしをまもる住民一人ひとりの意識を高めていきます。



『子ども 110 番の家ウォークラリー』

〔基本理念〕

みんなが安心して暮らせる
支え合いのまちづくり

〔基本目標〕

みんなで
福祉の風土を広げよう

住民、関係機関・団体の
ネットワークで
身近な福祉活動を
進めよう

一人ひとりの
安全で安心な暮らしを
守ろう

〔実施項目〕

- 募金活動
- 野江谷公園美化活動（野江谷町内会）
- 川美化活動（白野江東町内会）
- クリーン白野江（白野江小学校と合同）
- 町内清掃活動（各町内会）
- 餅つき大会
- 門司区グラウンドゴルフ大会参加
- シルバーふるさとまつり参加
- 朝のふれあい声掛け運動

○（重）活動の基盤を強化して、基本活動を充実しよう！

- ふれあいネットワーク活動
- 健康づくり事業
ラジオ体操・ウォーキング・バス研修(バスで運動場所まで移動)、
体力測定・グラウンドゴルフ大会
- 青浜サロン
- 敬老会（敬老訪問）
- 敬老訪問（施設訪問）
- クリスマス（年末）訪問
- 一人暮らしのふれあい昼食会
- 健康料理教室
- 親子サロン・子育てカフェ（市民センター）
- 学習室（春休み・夏休み・冬休み　市民センター）

- 生活安全パトロール
- 防犯灯の設置維持管理
- 子ども110番の家ウォークラリー
- 夜の防犯パトロール
- 一万人防犯パトロール参加
- 年末校区自主夜警

4 実施計画（重点実施項目）

重点実施項目		活動の基盤を強化して、基本活動を充実しよう！ ～見守り・助け合い・話し合いのしくみで安心な白野江へ～						
1 課題背景及び現状								
○白野江校区は門司区の高齢化率 36.2%と比べ 36.0%と若干低いものの、近年では町内ごとの差が大きく、また、福祉活動の取り組み状況にも温度差があり、それぞれの状況に合わせた柔軟な活動が求められています。 ○高齢化率の高い町内では、制度のはざまにある生活上の困りごととも増加してきており、見守り・助け合い・話し合いの基本活動の重要性が高まっている反面、活動者の固定化や高齢化も課題となっており、安心な白野江のまちづくりに向けた、活動の継続性の確保も必要です。								
2 活動の方針・目標								
○福祉協力員、民生委員・児童委員、町内会長をはじめとした関係者・団体がお互いの活動内容を共有できる場を設け、負担を増やさず基本活動をスムーズに行える環境を整えます。 ○活動の担い手の確保・養成に向け、若年層など「できる人ができることを少しずつ」地域活動に参加できるように取り組みます。								
3 段階的な取り組みの年次計画								
取り組み内容		連携する機関	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	参考
基本活動を充実しよう	お互いの役割を知る場をつくる (合同会議)	福祉協力員 民生委員 自治会 市民センター	→	→	→	→	→	年 1 回
	町内(班)ごとに話し合いの場をつくる (班会)	福祉協力員 民生委員 自治会		→				対象者や見守りで見つけた問題の共有
	助け合いの充実	福祉協力員 民生委員 自治会					検討 →	
	話し合いの充実	市民センター				検討 →	実施 →	



『サロン（3B 体操）』



『一人暮らしのふれあい懇親会』

3 段階的な取り組みの年次計画								
取り組み内容		連携する機関	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	参考
学び合おう	お互いの活動を学び合う (住民講座)	福祉協力員 民生委員 自治会 小学校						年 1 回 市民センター 講座と連携し 課題や支援方 法を学ぶ
	広報紙館報など で住民に活動を知 ってもらう	自治会 市民センター 小学校・PTA						担当福祉協 力員、民生委 員活動を周 知
住民に知らせよう	サロンや市民 センターを知 ってもらう (住民の集いの場)							
	花ゆい協力隊 (応援隊結成)	自治会 市民センター・クラブ 小学校・PTA 住民有志	声かけ					「出来ること から 少しずつ」人材を発 掘し、校区の 実行力を高め る
「人」をつくらう	規約を見直 し、誰でも参 加しやすい環 境をつくる		見直し					町内会長 OB や町内会長か らの推薦など
	引き継ぎで活 動しやすい環 境をつくる	福祉協力員 民生委員 自治会						活動の継続性 を確保

第4章 白野江校区の計画推進

1 地域への計画の承認と周知

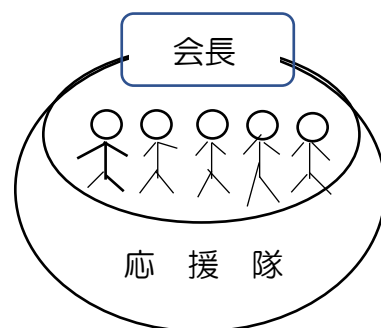
- ①校区連絡協議会等を通じた社会福祉協議会活動者への計画の承認と周知
- ②計画の実施計画を進めていく上での関係機関・団体への周知・協力依頼
- ③計画書概要版の配布等を通じた校区住民への周知等、計画を推進していくための計画の広報活動を行います。

2 計画を推進するための体制

(1) 小地域福祉活動計画推進委員会と応援隊の設置

計画を推進していくために、白野江校区小地域福祉活動計画推進委員会を設置し、計画の進行管理や事業を実施します。

- ①関係機関・団体との連携
- ②計画内容の具体的な実施方法
- ③進行管理の実施
- ④応援隊による事業の実施支援



(2) 計画の進行管理

白野江校区小地域福祉活動計画推進委員会を、必要に応じて年1～2回程度開催します（当年度の事業推進の確認、次年度の事業確認）。

委員会では、PLAN（計画立案）DO（実行）、CHECK（点検・評価）ACTION（改善）というPDCAのサイクルを回しながら、計画内の各実施項目の進捗状況を把握し、うまく進行していない場合には、その原因を明らかにし、問題への対策を立て、その対策案を実行します。



(3) 計画の評価

計画期間の中間時点では計画全体の進捗確認を、最終年度には総括評価を行います。

3 第二次計画の策定

第一次計画の推進状況を踏まえて、第二次計画の策定期（計画第5年次）には新しく第二次計画策定委員会を設置し、計画策定に向けて協議を進めていきます。

参考資料

1 白野江校区小地域福祉活動計画策定委員会 委員名簿

	氏 名	所 属 団 体 ・ 役 職
1	出 口 正 助	校区社会福祉協議会 会長 自治連合会 会長
2	佐 原 豊	青少年育成協議会 代表
3	杉 本 あつ子	校区社会福祉協議会 副会長 民生委員児童委員協議会 会長
4	宮 本 修 次	民生委員児童委員協議会 副会長
5	堀 山 妙 子	民生委員児童委員協議会
6	清 水 宰	民生委員児童委員協議会
7	石 本 美佐江	民生委員児童委員協議会 主任児童委員 スポーツ推進委員
8	赤 塚 秀 美	民生委員児童委員協議会 主任児童委員
9	浦 田 一 幸	白野江小学校 校長
10	澤 田 卓 磨	白野江小学校 PTA 会長
11	大 石 和 昭	自治連合会 少年補導員
12	隈 村 勇 一 郎	白野江駐在所 警察官
13	大 工 高 義	白野江元気会 会長
14	奥 正	自治連合会 消防団
15	大 熊 強	門司保護区保護司会 会長・保護司
16	若 松 勝	白野江西町内会 町内会長
17	堀 山 収 造	白野江東町内会 町内会長
18	野 瀬 秀 洋	野江谷町内会 町内会長
19	望 月 逸 郎	白野江団地 町内会長
20	大 山 智 子	促進第1町内会 町内会長
21	重 松 正 志	促進第2町内会 町内会長
22	高 野 裕 美	第一市住団地 町内会長
23	三 浦 和 枝	第二市住団地 町内会長
24	高 瀬 由 美	白野江市民センター 館長

2 策定委員会での協議事項

回	開催日	主な協議事項
1	平成30年 9月 6日(木)	第1回策定委員会 ・計画策定の主旨確認 ・校区の取組の洗い出し
2	平成30年10月 5日(金)	第2回策定委員会 ・校区の取組の整理 ・課題と既存の活動とのつきあわせ
3	平成30年11月22日(木)	第3回策定委員会 ・基本理念と基本目標の確認
4	平成31年 1月31日(木)	第4回策定委員会 ・重点項目の選定
5	平成31年 2月26日(火)	第5回策定委員会 ・計画書の編集
6	平成31年 3月19日(火)	第6回策定委員会 ・計画書の編集



集会所



年長者いこいの家



青浜公民館

策定委員会の様子



計画の策定と言われて初めは不安な表情のみなさん。



日頃の活動を見なおしてみたら、たくさんの意見がでてきました。



これからの取り組みに必要なことが見えてきました。



委員会が進むにつれみなさんに笑顔がでてきました。

【表紙の写真】 「サトザクラ」(白野江植物公園)

梅花石(海百合の化石)

★社会福祉協議会のイメージキャラクター★



『プチボザウルス』 (Petit vo saurus)

Petit (プチ：ちっちゃな)

Volunteer (ボランティア)

Saurus (サウルス＝恐竜)

白野江校区社会福祉協議会

〒801-0802 北九州市門司区白野江二丁目 13 番 1 号 白野江市民センター内

TEL 093-341-3221 FAX 093-341-3221

URL <http://www.kitaq-shakyo.or.jp/moji/shiranoe/>

門司区社会福祉協議会

〒801-8510 北九州市門司区清滝一丁目 1 番 1 号 門司区役所内

TEL 093-331-3688 FAX 093-331-5994

URL <http://www.kitaq-shakyo.or.jp/moji/>

北九州市社会福祉協議会

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町 1 番 6 号 ウェルとばた内

(代 表) TEL 093-882-4401 FAX 093-882-3579

(地域福祉部) TEL 093-882-4425 FAX 093-873-1351

URL <http://www.kitaq-shakyo.or.jp/>

